



## 使用上の注意改訂のお知らせ

モルヒネ系製剤

日本薬局方 モルヒネ塩酸塩水和物

**モルヒネ塩酸塩水和物「第一三共」原末**

毒薬、麻薬、処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

モルヒネ系製剤

日本薬局方 モルヒネ塩酸塩注射液

**モルヒネ塩酸塩注射液10mg「第一三共」**  
**モルヒネ塩酸塩注射液50mg「第一三共」**

劇薬、麻薬、処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

モルヒネ系製剤

日本薬局方 モルヒネ塩酸塩注射液

**モルヒネ塩酸塩注射液200mg「第一三共」**

劇薬、麻薬、処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

アヘン末製剤

日本薬局方 アヘン末

**アヘン末「第一三共」**

日本薬局方 アヘン散

**アヘン散「第一三共」**

劇薬、麻薬、処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

アヘンチンキ製剤

日本薬局方 アヘンチンキ

**アヘンチンキ「第一三共」**

劇薬、麻薬、処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

2024年11月

製造販売元 **第一三共プロファーマ株式会社**

販売元 **第一三共株式会社**

このたび、標記製品の「使用上の注意」の一部を改訂いたしましたので、ご連絡申し上げます。

つきましては、今後のご使用に際しご参照いただくとともに、副作用等の治療上好ましくない有害事象をご経験の際には、第一三共MRに速やかにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

### 1. 改訂の概要

《自主改訂》

「10.2 併用注意 (併用に注意すること)」の項に「クロピドグレル硫酸塩」、「チカグレロル」、「プラスグレレル塩酸塩」を追記しました。

### 2. 改訂内容 [( ) 自主改訂]

■モルヒネ塩酸塩水和物「第一三共」原末

■モルヒネ塩酸塩注射液10mg・50mg「第一三共」

■モルヒネ塩酸塩注射液200mg「第一三共」

改訂前			改訂後		
10. 相互作用			10. 相互作用		
10.1 併用禁忌 (併用しないこと) (略)			10.1 併用禁忌 (併用しないこと) 現行通り		
10.2 併用注意 (併用に注意すること)			10.2 併用注意 (併用に注意すること)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(略)			現行通り		
ブプレノルフィン	ブプレノルフィンの高用量 (8mg連続皮下投与) において本剤の作用に拮抗するとの報告がある。	μオピオイド受容体拮抗作用により、本剤の作用が競合的に阻害される。	ブプレノルフィン	ブプレノルフィンの高用量 (8mg連続皮下投与) において本剤の作用に拮抗するとの報告がある。	μオピオイド受容体拮抗作用により、本剤の作用が競合的に阻害される。
(追記) →			クロピドグレル硫酸塩 チカグレロル プラスグレレル塩酸塩	左記の薬剤の血漿中濃度を低下させる可能性がある。	本剤の消化管運動抑制作用に関連すると考えられる。

- アヘン末「第一三共」
- アヘン散「第一三共」
- アヘンチンキ「第一三共」

改訂前			改訂後		
10. 相互作用 10.1 併用禁忌 (併用しないこと) (略) 10.2 併用注意 (併用に注意すること)			10. 相互作用 10.1 併用禁忌 (併用しないこと) 現行通り 10.2 併用注意 (併用に注意すること)		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子	薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(略)			現行通り		
ブプレノルフィン	ブプレノルフィンの高用量 (8mg連続皮下投与) において本剤の作用に拮抗するとの報告がある。	μオピオイド受容体拮抗作用により、本剤の作用が競合的に阻害される。	ブプレノルフィン	ブプレノルフィンの高用量 (8mg連続皮下投与) において本剤の作用に拮抗するとの報告がある。	μオピオイド受容体拮抗作用により、本剤の作用が競合的に阻害される。
(追記) →			クロピドグレル硫酸塩 チカグレロル プラスグレレル塩酸塩	本剤に含まれるモルヒネにより、左記の薬剤の血漿中濃度を低下させる可能性がある。	本剤に含まれるモルヒネの消化管運動抑制作用に関連すると考えられる。

### 3. 改訂理由

#### 《自主改訂》

公表された文献<sup>1-3)</sup>を検討した結果、追記することとしました。

- 1) Circ Cardiovasc Interv, 2016 Sep;9 (9) : e004229
- 2) Indian Heart J, 2019 Mar-Apr;71 (2) :126-135
- 3) Am J Emerg Med, 2021 Mar;41:219-228

☆本剤の最新の電子添文については、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」(<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>)に掲載しておりますので、ご参照いただきますようお願い申し上げます。また、専用アプリ「添文ナビ」よりGS1バーコードを読み取ることで、最新の電子添文等をご参照いただけます。

モルヒネ塩酸塩水和物原末



(01)14987081503046

アヘン末・散



(01)14987081500021

モルヒネ塩酸塩注射液 10mg・50mg



(01)14987081503442

アヘンチンキ



(01)14987081500465

モルヒネ塩酸塩注射液 200mg



(01)14987081503466

〈製品情報お問い合わせ先〉

第一三共株式会社 製品情報センター

TEL : 0120-065-132 (がん・医療用麻薬専用)

〔受付時間 9 : 00 ~ 17 : 30 (土、日、祝日、当社休日を除く)〕

製造販売元

**第一三共プロファーマ株式会社**

東京都中央区日本橋本町3-5-1



Daiichi-Sankyo

販売元

**第一三共株式会社**

東京都中央区日本橋本町3-5-1